

農作業コツのコツ

【第7号】

令和7年5月31日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

早生

溝切りを行っていないほ場は早急に実施しましょう。

中生・晩生・直播

浅水管理や軽い田干しで稲体を健全化し、溝切りを行いましょ。

水稻の生育は、早生の分けつが順調に進み、中晩生の活着や直播の苗立も良好です。今後は、生育状況や品種に応じた適切な水管理（浅水、溝切り・中干し）で稲体の健全化を図りましょう。早生品種は、中干し・間断かん水での干しすぎに注意しましょう。また、今年もカメムシが多発しているので、畦畔雑草の草刈り等の除草を徹底しましょう。

水稻・移植

生育状況

(5月27日:福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名		田植日		草丈 (cm)		株当たり茎数(本)		葉齢 (葉)		葉色	
		R7	平年	R7	平年	R7	平年	R7	平年	R7	平年
とみちから		5/ 3	5/ 3	26.6	28.2	10.3	9.1	6.3	6.5	4.2	4.3
五百万石		5/ 5	5/ 4	23.5	23.7	9.3	7.2	6.3	6.6	4.2	4.3
てんたかく ⁸¹		5/ 4	5/ 4	23.7	24.7	8.5	6.9	6.2	6.1	4.0	4.1
コシヒカリ		5/14	5/14	19.5	23.8	4.4	4.8	4.6	4.6	3.8	4.0
てんこもり		5/11	5/ 9	22.2	22.3	6.7	5.8	5.5	5.5	4.1	4.3
密苗	てんたかく ⁸¹	5/ 4	5/ 4	21.5	21.2	9.4	7.6	5.6	5.6	3.9	4.1
	コシヒカリ	5/19	5/16	12.0	18.0	4.7	4.8	2.9	4.1	3.6	4.0
	てんこもり	5/ 6	5/ 8	20.3	19.9	9.0	6.7	5.8	4.9	4.1	4.2

※てんたかく 81 の平年値は R4～R6 年の値

(調査筆数: コシヒカリ (慣行) 2筆、他各 2筆)

1 早生

- (1) まだ溝切りをしていないほ場は、早急に行いましょう。
- (2) 中干しは、下表を目安とし、適期（目標穂数の8割程度）に行いましょう。
茎数が目安より少ない場合は、中干しを遅らせましょう。

品 種	茎数 (株当り)			中干し開始の目安	
	80株植	70株植	60株植		
とみちから	15本	17本	—	5/ 3植	6月4日頃
五百万石	11～12本	13本	—	5/ 5植	6月2日頃
てんたかく81	—	19本	22本	5/ 4植	6月8日頃

中干しの効果

- ・根の活力が向上し、直下根が発達する
- ・無効分けつの発生を抑制する
- ・土壌の硬さを確保する

- (3) 中干しは、短期間に強く干しすぎると根を傷め、稲の生育に影響しますので、数回に分けて徐々に干しあげましょう。

粘質田 (水持ちの良いほ場)	長靴が少し沈む程度 → 田干しを数回繰り返す → 田面に強いヒビ
黒ボク・転作跡田 (水持ちの悪いほ場)	田面に弱いヒビ



《中干し終了時の目安》
ほ場中央で、くるぶしまで沈む程度(足跡深さ10cm程度)

- (4) 中干し終了後は、間断かん水を行い、幼穂形成期頃までに足跡の深さが3cm程度となるように田面を硬めましょう。

★干しすぎると、稲体活力(葉色)が低下し、茎数(穂数)が減少するので、干しすぎに注意しましょう。

- (5) 溝の手直しを行い、収穫直前まで入水・排水が円滑に行えるようにしましょう。

2 コシヒカリ、てんこもり

- (1) 中干し開始まで、**浅水管理（3 cm）**で分げつの発生を促しましょう。
- (2) 藻やワキの発生が見られたら、**田干し**や**水の入れ換え**を行い、稲体の健全化を図りましょう。
- (3) 中干しの効果を高め、入水・落水を速やかにするため、必ず**溝切り**をしましょう。

水稻・直播

生育状況 (5月27日:福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名		播種日		草丈 (cm)		m当たり茎数(本)		葉齢 (葉)		葉色	
		R 7	平年	R 7	平年	R 7	平年	R 7	平年	R 7	平年
カルパー	コシヒカリ	4/26	4/30	16.8	16.6	32.0	38.4	4.0	4.2	4.0	4.1
鉄コ	コシヒカリ	5/ 5	5/ 2	9.5	12.4	20.5	21.8	2.6	3.1	3.8	4.1
	てんこもり	4/29	4/30	10.2	12.0	26.0	21.3	2.9	3.7	3.9	4.1

(調査筆数:カルパー 1 筆、鉄コ各 2 筆)

- ・ **浅水管理**を徹底し、分げつの発生を促しましょう。
- ・ 中干し開始前に必ず**溝切り**をしましょう。
- ・ 中干しは、**遅れずに適期 (1m間茎数が 100 本を目安、目標穂数の 8 割) に開始**しましょう。
- ・ 種子塗抹処理の **F S 剤**を施用していない場合は、いもち病や紋枯病防除として **6 月 20 日まで**に**オリブライト 250G**を必ず散布しましょう。

雑草防除（移植・直播共通）

- ・ 雑草が残っている場合は、雑草の種類や大きさを確認し、遅れずに除草剤を散布しましょう。※詳しくは『営農とくらし』P58～65 参照
- ・ 中干しや葉いもち防除時期と重なることから、水管理（湛水または落水）を考慮し、使用する除草剤を選定しましょう。

大豆

ほ場に長時間雨水が停滞しないよう**額縁排水溝**や**排水口**の**点検・手直し**を行い、**排水対策**に努めましょう。

播種作業

- ・ ほ場を十分乾燥させ、耕起～播種の一連の作業は **1 日**で行いましょう。
- ・ 適切な栽植本数となるよう播種開始時に必ず**種子の落下状況、播種深度（3 cm程度）**を確認しましょう。

播種時期	目標栽植本数		10a 当たり播種量
	10a 当たり	m当たり	
5 月末～6 月上旬	16, 000 本	13 本	4. 8 kg
6 月中旬	18, 000 本	14～15 本	5. 4 kg

- ・ 基肥量は施肥基準（**R 6 年に引き続き減肥**）を守り、過剰とならないようにしましょう。

肥料名	施肥区分		10a 当り施用量
基肥555	側条	単作	1 0 kg
		麦作跡	1 5 kg
LPs大豆専用	肥効調節	単作	1 5 kg

- ・ 作業中は適切な播種量となっているか随時確認を行いましょう。
- ・ 播種後はほ場に水が溜まらないよう**溝を手直し**し、額縁排水溝や排水口に必ず連結しましょう。
- ・ 除草剤は、播種後土が湿った状態で早めに散布しましょう。なお降雨が予想される場合は、**降雨後に散布**しましょう。